

# おやつのじかん3 -ちょっとひとやすみ-

—大人の一步—

NO. 69



いつも使っているシステム手帳があります。もう20年以上同じモノを使っています。私はスケジュール管理が下手で、すぐに忘れてしまいます。書き留めておいたメモを失くしてしまうのですから、いやいや困ったものです。手帳を使い始めた頃は、予定を書き込む用紙もいろいろなモノを試しました。細かすぎると書ききれないし、大まかだと整理したことにならないし、ピッタリ合ったモノになるまで数年かかりました。「この用紙いいかもしれない」「このメモ使ってみようかな」「これはダメだった」といった微調整を何度もしましたが、それも楽しみのひとつでした。今は、「これが自分流」という形ができていますので、名パートナーです。

さて、子ども達の身の回りのモノに目を向けてみると、育ちの中で、服や靴、カバン、いろいろな道具、それを入れる袋、タオル、ハンカチ等いろいろなモノがでてきます。学校に入れば、筆箱やノートが仲間入りしたり、持ち歩くカバンや手さげもひとつじゃなくなってきます。大人が管理している間は、大人の都合のいいように、自分流で工夫していくと思います。子どもが自分でできそうなことは、過ごす環境にも合わせて少しずつ工夫していきたいですね。当たり前のことのように、昨日と今日と明日があまり変わらないのが日常です。子どもの育ちに大人が追い付いていないことが多いです。育ちに合わせて、形やサイズを見直すには今がいい時期です。

例えば、小さい子ども達なら、いつも着ている服、その子にとっての“脱ぎやすさ・着やすさ”って、少しずつ変わってきていると思います。着替え動作の力に合わせて微調整していきましょう。身体に合っているか、ピタッとし過ぎていないか、ボタンにも挑戦してみようか等、改めて見渡してみましょ、放デイの春、初めて着る制服に四苦八苦する子がいます。小さい頃からの積み重ねは、先々の手際につながっていくんだと、しみじみ考える場面です。

もちろん、オシャレも大切です。「かわいいね」「素敵だね」って言われる場面は、みんなが笑顔になれホッとします。着替えにくいかもしれないけど素敵な服で輝く姿と、自分でできる姿が輝く姿を、大人が上手に考えていきたいですね。

あとは…、持ち歩くバッグの使い勝手は？ 今使っているものは自分で出し入れしやすいバッグでしょうか？ バッグの大きさや硬さによって入れやすさって変わります。その他、道具選びもそうですが、スプーンやお箸の入れ物が子どもに優しいかどうか、コップや歯ブラシが入れやすい袋になっているかどうか、日常のことですから、使うその場で立ち止まってしまわないようにしたいですね。春から新しい持ち物が増えるようなら、そんな目線でも揃えてみてください。指定された規格のモノでも、ちょっとした工夫で使い勝手は変わります。一緒に考えていきましょう。

使いやすいグッズを用意することで、自分の力で進もうとする子どもの背中を押せるなら、大人がトライする意味は大きいですね。でもね、それは「これまで十分に手をかけ包み込んで、安心感で満たしてきたからこそそのステップアップ」だということも忘れないでください。自分でしなさいと突き放すのではありません。かけていた手を徐々に減らし、取り組む姿を温かい目で見守っていく“手立て”の見直し、大人の一步です。 (R4. 2) K

